

原子力産業新聞

第104号

昭和34年4月15日

毎月3回(5日、15日、25日)発行

購読料 1部7円(送料不要)

1年分前金200円

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

発行所 日本原子力産業会議

東京都港区芝田村1の1(東電ビル3階)

電話(59)6121-4

振替東京5895番

原子力産業 経営視察団の日出発

日本生産性本部でアメリカに派遣する「原子力産業経営視察団」の一行十一名は、四月九日午後九時四十分、日航機で羽田を出発した。この視察団は、わが国原子力産業の発展を促進する目的で、経営者としての立場から、六週間アメリカの諸機関を視察する。

この日はほかに貨物航空技術専門視察団、第二次経済調査機関専門視察団同チームも、同じ日航機で渡米するので、空港は時々の混雑であった。

経営視察団は産業界を中心とした指導層の人々なので、見送る人にも重役クラスが多く、家族、知友その他の関係者が次第に加わり、受付のテーブルにはたちまち名刺がうすく積み上げられ、大ホールも廊下も人で埋まり、かきわけて通るの難儀であった。



視察団メンバー

原子力産業経営視察団のメンバーは次の十一氏である。

△団長 福生光吉 三菱原子力工業常務取締役

△幹事 後藤正記 通産省公益事業局原子力発電管理官

△副団長 浅田勝平 原子燃料公社企画部長

△副幹事 日立製作所取締役 石塚晴美

△顧問 内古閑太郎 日本原子力事業常務取締役

△顧問 久布白象 日本原子力研究所理事

△顧問 高洲紀雄 住友電気工業専務取締役

△顧問 名見邦彦 神戸製鋼所取締役

△写真 羽田出発の視察団と大屋原副会長(右から、石塚、大屋、渡部、福生、後藤、久布、内古閑、浅田、名見邦、永田、吉田の諸氏)

原子力利用基本計画を深化拡充 研究開発を深化拡充 進展に必要な態勢も整備

原子力委員会が四月八日の定例会で「昭和三十四年度原子力開発利用基本計画」を決定した。正式にきまった基本計画は、きまらぬままに、原電の導入する発電炉建設契約の更新を盛り込み、この年度用発電炉がわが国の原子力開発上重大な転機をもたらすべき性質のものであるから、その安全性、経済性等を慎重に審議して、本邦導入の早期実現をはかること、また教育訓練用原子炉を

「わが国の現状は、従来努力されてきた原子力平和利用のための研究開発態勢が、一応整備された段階にある」といえる。かくして、昭和三十四年度において果たざるべき事業の特徴は、これまで得た成果の上に立脚して、人員の拡充を初めとして、広く研究開発の内容を深化し、拡充せしめるとともに、世界の研究開発の動向にそなわけて「基本計画」の大要は二面掲載のとおりである。

五月三日に羽田へ 米オークリッジ研究所長

アメリカのオークリッジ国立研究所所長A・ワインバーグ氏が、原子力委員会の招きで、五月三日午後零時三十分羽田に着く。氏は一九一五年生れの原子炉一とくに均等の基礎を築いてこられた。同時にこれら研究開発の進展に際して、必要となる態勢の整備拡充に努力すべきである。

この昭和三十四年度原子力開発利用基本計画は、以上のとおり同年度の特徴を表現せしめることを目標に、すでに決定した「発電用原子炉開発のための長期計画」「核燃料開発のための長期計画」の線にそい、また、目下検討中の核融合研究計画、原子力船開発計画、技術者養成訓練計画、アイソトープ研究関係者、幹事などが同氏を招いて懇談会を開く。

なお原電では十一月日本工業クラブで、十三日には大阪で一般講演会を開くが、原子力海外留学者懇談会でも十一日午前、オークリッジ研究所関係者、幹事などが同氏を招いて懇談会を開く。【写真はワインバーグ氏】



米オークリッジ研究所所長

午後アメリカ大使館関係者と懇談し、七日、九日、東京研究所へ十一日午前留学者懇談会との懇談、午後原電主催講演会(十二日大阪へ十三日午前関西原子力学会懇談会、午後原電主催講演会)十五日大阪発東京、午後七時羽田発帰国

五課を七課に 原子力局拡充

政府は四月九日科学技術庁組織令の一部を改正する政令を公布したので、十六日から原子力局の分課が変更される。同行に際しては、さきに設置された一部が改正され、局長の下に次長(名をおくことになった)が、その施行期日四月十六日と定められたので、この日から新しい原子力局が発足する。

新原子力局はこれまでの五課が、政策、調査、研究開発、核燃料、アイソトープ、原子炉規制、放射線安全の七課となり、ほかに原子力開発機関監理官(一)名が設置される。この監理官は原子燃料公社の指導、監督に関する事務を扱う。この拡充のため、原子力局では二十九名を増員することになり、定員法の改正が目下国会で審議されている。

高崎通産相渡米

高崎通産相(原子力委員)は四月十六日午後九時羽田発の日航機で渡米する。来月一日帰国の予定。不在中の科学技術庁長官の事務は佐藤蔵相が代行する。

原産地より

四月十六日午前十時三十分、同基金第十五回理事会(二十三日午前十一時三十分工業クラブ) グローブ氏来日(十六日午前十時五十分) 歓迎レセプション(同日午後六時八分) セミナー(十七日午後二時三十分) 講演会(二十日午後二時三十分) 懇談会(二十一日午後二時三十分) 原子力船建設委員会(二十一日午後二時三十分) 放射線化学の問題点に関する懇談会(十七日午前十時) 原子力補償問題特別委員会(原子力部) (十七日午後二時三十分) 原子力留学者懇談会(大阪) 幹事会(二十一日午後二時三十分) 海外調査(二十一日午後二時三十分) 原子力研究所(通産) アングル

Toshiba 放射線モニター 東芝

主な放射線モニター

- 手足衣服モニター 3種 (人体汚染監視装置)
- 水ガスモニター
- 排水モニター
- ガスモニター
- サーベイメータ各種

人体汚染監視装置としては、T A-2033 A形(β、γ線・ハンドフットクロス用)、T A-2033 B形(α線・ハンドクロス用)、T A-2033 C形(β、γ線・ハンドフットクロス用とα線のクロス用兼用)の三種があります。

東京芝浦電気株式会社
東芝放射線株式会社
本社 東京都中央区銀座7-5 電話(57)5571(代)6171(代)

丸善の洋書御案内・・・ 新刊在庫書

Bell, C. G. (ed.) - Liquid Scintillation Counting. '58. 16×24 cm., xi, 292 p. (Pergamon) ¥ 4,200

Blatt, J. M. and V. F. Weisskopf. - Theoretical Nuclear Physics. '58. 15×24 cm., xiv, 864 p. (Wiley) 5,400

Elwell, F. R. - Atoms and Energy. '58. 18×22 cm., 70 p. (Methuen) 630

Glasstone, S. - Sourcebook on Atomic Energy. 2nd ed. '58. 16×24 cm., 546 p. (Van Nostrand) 1,760

Haissinsky, M. (ed.) - Organic Peroxides in Radiobiology. '58. 15×25 cm., vi, 153 p. (Pergamon) 3,600

Kopelman, B. - Materials for Nuclear Reactors. '59. 16×24 cm., xii, 411 p. (McGraw-Hill) 4,800

Martin, F. S. and G. L. Miles. - Chemical Processing of Nuclear Fuels. '58. 15×22 cm., 242 p. (Butterworth) 2,400

Veall, N. and H. Vetter. - Radioisotope Techniques in Clinical Research and Diagnosis. '58. 15×22 cm., xii, 404 p. (Butterworth) 3,000

東京・日本橋 丸善 Tel. (27) 2321, 2351
都内出張所: 丸ビル1階 振替東京5番
渋谷 東横 新宿 伊勢丹

論文選考要領

R1会議常任委員決定
原産の日本アイソトープ協会
常任委員会は、四月七日第三
回日本アイソトープ協会論文
選考要領を定めた。論文採択
の要領は、大體前回と同じだが
今回は提出期限以後に到着し
た論文(アポストラクト)に
ついては、とくに優秀なもの
でない限り原則として採択し
ないことになった。

四年後の暮には発電

建設費は百八十億円にアルファ加算

日本原子力発電株式会社は、茨城県
東海村に建設予定しているコー
ルターホール改良型発電炉の導入
について、イギリスGEC(ゼネ
ラル・エレクトリック)社とサイモ
ン・カークス社とが、四月三日東京で
K1-ウットンGEC原子力部
長との間で仮契約書に調印した。
正式調印は七月までの予定だが、
一九六二年の暮には完成し、原子
力による電気が、初めて我が国の
産業界に送り込まれる見込みであ
る。

照射使用料金の決定に

原産から原研等に善処を要望

照射に用いる研究が、先進諸国に
は、四月二日原産協会に「コバ
ルト60線源の照射使用料金につ
いての要望書」を出した。原研で
はこれまで、コバルト60放射線
照射室の共同利用に試用期間中の
暫定料金を適用していたが、近く
正式に使用料金を定めることにな
ったので、これに対する
善処を要望した。このため協会
長は所望の手続きを
つたうえ、七日原研理
事長駒形作次、原子力
局長佐々木武蔵氏あ
てにこれを提出した。
なお三月十八日には日
本学術会議からも同様
趣旨の要望書が前記両
氏に提出されている。
原産から出した要望書
の主要点は次のとおり
である。

要領書要旨

原研東海研究所に建設
されたコバルト60放射
線照射施設の使用料金は、
照射に必要な直接費を使用者の負
担にするという方針で暫定的にき
められた。しかし一つの照射実験
だけについて試算してみると、
表に六十万円という使用料金にな
る。

①現在この照射に得るよう
に設備を増強された。
②また立体的に照射し得るよう
に設備を増強された。
③照射料金の区分である簡内、
簡外の二区分を簡内、中間、簡
外の三区分にされた。
④特に大線量照射の料金を引下
げられた。

原子力界の動き



4月6日午前10時から、文部省大臣室で、昭和33年度の芸術選奨と教育映画などの文部大臣賞授与式が行なわれたが、原産のオートスライド「私たちの原子力」は、河内重三部長が管会長の代理として受賞した。

【写真は受賞する河内重三部長】

第20回原子力講演会

4月20日午後1時30分から日本工業クラブで
①あいさつ 理化学研究所主任研究員山崎文男氏
②講演「R1の製造—現代錬金術の驚異—」 英国原子力公社
放射線化学センター所長W.P.グロウプ氏
③映画「R1の工業利用」(グループ氏の持参したもの)
同「日本の原子力」(原子力委員会企画)

国会図書館が原子炉設計図集を買う

二百万円AECから
訪英中の一本松原副社長は、四
月八日イギリス原子力公社との原
子力発電炉に関する技術協定調印
に調印した。また公社は一本松氏
に謝状を送った。

補助金と委託費の募集告示

原子力平和利用関係
科学技術庁は四月十一日の官報で
「原子力平和利用研究補助金に
かかる試験研究課題および申請
書の提出期間」と「原子力平和利
用研究委託費にかかる試験研究
題目および申請書の提出期間」を
告示した。申請書の提出期間は、
四月十一日から五月十一日
までである。

告別板

△入会 日本原子力産業協会に次
の各社が入会した。カッコ内は
代表者ならびに所在地
△立石電機株式会社(社長立石
一真氏、東京都中央区花土町一
丁目一〇)
△アメリカン・エレクトロニクス
ヤル株式会社(代表取締役坂田
鉄郎氏、東京都芝区芝二丁目一四
△特殊製鋼株式会社(社長石原
米太郎氏、千代田区丸の内一)
△株式会社日本起重機製作
所(社長矢沢広吉氏、大田区郡
所)

事業経過

△(水) 国内事情調査連絡会
放射線化学部会開催促進分科会
△(木) 放射線化学部会、同
啓蒙普及分科会
△(金) 原子
力賠償特別委員会専門部会
△(土) 第十八回常任理事会
△事務所移転 福清化学工業株式
会社は四月十三日に移転した。
大阪府東区淡路町一四 電話
大阪(26)一七三二
△千代田区丸の内一、新住友
ビル落成のため四月二十日同ビル
に移転するのとはたおりである。
(カッコ内は代表電話番号)
△(日) 日本原子力産業協会に次
の各社が入会した。カッコ内は
代表者ならびに所在地
△立石電機株式会社(社長立石
一真氏、東京都中央区花土町一
丁目一〇)
△アメリカン・エレクトロニクス
ヤル株式会社(代表取締役坂田
鉄郎氏、東京都芝区芝二丁目一四
△特殊製鋼株式会社(社長石原
米太郎氏、千代田区丸の内一)
△株式会社日本起重機製作
所(社長矢沢広吉氏、大田区郡
所)

国会は自然休会に

原子炉等規制法改正成立

最近これに関する法律、規則を全
面的に改正するのを初め、労働、
運輸、通産各省でも関係規則の改
正を考えているという。これは六
日の朝日に掲載された記事である
が、これによると、まず厚生省で
は医療法にもとづく施行規則の一
部改正、薬事法にもとづく放射性
物質の規制法にもとづく放射線
法にもとづく施行規則の一部改正
が、予算はともかく、原子炉等規
制法の一部改正案も三月十七
日に成立している。原子力局が
充てに伴う定員法の改正案も、ま
だいくらかは検討中だが、地方
選挙後の再開国会で審議すれば、
新年度の計画には支障が起らな
い見通しである。

原子炉等規制法改正成立

医療品製造規則の制定、診療線
技師法の全面的改正などが考え
られている。
○これに対して運輸省では、昨
年十月放射線物質車両運搬規則
を制定して、放射線物質の普及に
ともなう輸送面の安全をはかった
が、労働省でも近く労働基準法に
工作部、放射線部などを新設す
るに際し、効率を数%で、実用
に對して、GECが日本に建設す
る原子力発電所に、燃料を供給す
るという書簡を手渡した。
なお一本松副社長は、技術部長長
前田、副部長長井隆吉両氏を
同伴して、四月十六日午後四時
十五分羽田着のエア・フランス機
で帰国する。

委員会発行のエンジニアードロ

インクス(原子炉設計図集)を
一括購入するための手続約二百万
円を獲得したので、このほど原産
力局、原研、産業界(五グループ
代表など)などの意見をきいて、
一〇五ミリフィルム(リヤゾータ
イフサイズ)で購入することに
決定した。
しかし二百万円の予算では既発行
分の約半分しか購入できないの
で、購入順序については再び産業
界代表と協議して決定することに
なっている。なお、一〇五ミリフ
イルムのリターは新しく図書館
に備え、利用者が必要に応じて注
入するための便をはかることになっ
ている。

植松君復学

日本原子力平
和利用基金の第一回派遣留學生
植松君が、MITで勉強中
病気になり休学していたが、全快
したので三月から復学した。最近
のたよりによると、復学早々の中
間試験にも見事パスしたという。

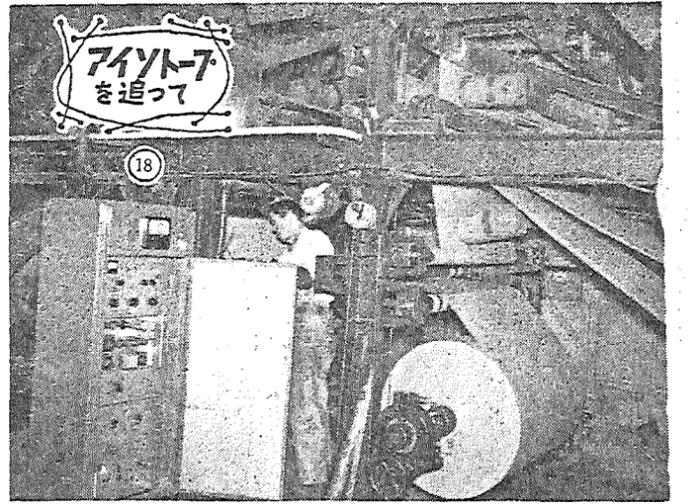
現況に即してますます充実した

好評発売中

新版 原子力読本

B6判120頁各頁写真入 定価 130円 お申込は書店または産業会議事業部へ
原子力読本は、日本原子力産業協会が国民一人残らずに原子力の知識をもっていた
だきたいという念願から、むずかしい核物理の知識がなくても原子力がわかるよう
に写真や図解をたくさん入れて読みやすく解説したものです。こんど現況に即して
全面的に改訂し、なかでも発電炉を中心とした各国の原子力事情などは最新のデー
タによって書き改め、核融合反応の説明をも収録し、ますます充実した原子力解説
書の決定版です。
刊行 日本原子力産業会議 東京都港区芝田村町1-1
電話(59)6121(振替東京5895)

VER MIX-S 長好なイオン交換体 汚染除去 株式会社 千原商店 製造元 東京特殊化工株式会社



「アイト」を追って

18

予想外に高い関心

ついでに九月からの予定で、東京・銀座の紙パルプ会館に、わが国の製紙工業界のおおむねが結集した。金曜日の午後二時、二十五社におよんだ。王子製紙からは、本部長、本州製紙からは、重役、技術者が参加した。この日、紙パルプ技術協会の主催で開かれた「紙パルプ工業と厚み計」と題する研究会に出席する人々だ。

検査中の十條製紙

十條製紙技術室の藤河さんは「厚み計の出現は画期的なものだが、厚み計はかつてあまり意味がなかった。厚み計採用前に、あらかじめ厚み計の性能を確かめる必要がある。第一は、原料の組成の問題だ。組成がかわると厚み計でもアイトの吸収率がちがってしまう。紙の原料は、パルプを化学処理してセルロースになったセルロースと、木材そのまゝのG.P.とよばれる機械的パルプ、これが七〇対三〇でまぜられるわけだ。これに白土を加え、さらにインクがにじまない化学薬品を入れる。この比率が、つねに保たれる調節器が必要。第二は、問題の水分だ。紙は原料の状態では、水分が九九パーセント。これをワイヤーパートで乾燥して、プレスパートで乾燥して、ドライパートで乾燥する。製品になっても一般的に七七八の水分をささんでいる。この水分を一定にコントロールする水分計が、紙の厚みを放射線の吸収率によってはかるわけだ。水分まで厚みとして測るから、水分が変動すれば正確な厚みはでない。厚み計の精度の問題でないから技術的にはどうにもならないわけだ。

製紙工業と厚み計 利用はばむ紙の含水率

だが、普及は時間の問題

大の目的、このためには連続測定がどうしても必要、これにはアイトの利用以外に考えられる方法がない。結局、厚み計の採用は、厚み計の性能を確かめる必要がある。第一は、原料の組成の問題だ。組成がかわると厚み計でもアイトの吸収率がちがってしまう。紙の原料は、パルプを化学処理してセルロースになったセルロースと、木材そのまゝのG.P.とよばれる機械的パルプ、これが七〇対三〇でまぜられるわけだ。これに白土を加え、さらにインクがにじまない化学薬品を入れる。この比率が、つねに保たれる調節器が必要。第二は、問題の水分だ。紙は原料の状態では、水分が九九パーセント。これをワイヤーパートで乾燥して、プレスパートで乾燥して、ドライパートで乾燥する。製品になっても一般的に七七八の水分をささんでいる。この水分を一定にコントロールする水分計が、紙の厚みを放射線の吸収率によってはかるわけだ。水分まで厚みとして測るから、水分が変動すれば正確な厚みはでない。厚み計の精度の問題でないから技術的にはどうにもならないわけだ。

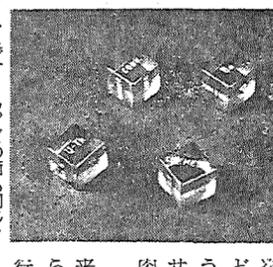
「ガンマ線の透過計算」と題して、原産国放射線防護グループは一九五八年年度年次報告書を発表した。この報告書は、放射線防護グループの単位でとりまわっているが、この報告書の透過計算は、ガンマ線の透過計算が主である。この報告書は、放射線防護グループの単位でとりまわっているが、この報告書の透過計算は、ガンマ線の透過計算が主である。この報告書は、放射線防護グループの単位でとりまわっているが、この報告書の透過計算は、ガンマ線の透過計算が主である。

加減器

いろいろな種類の動力炉が、日本では、原子力発電所として建設される。このうち、加減器は、原子力発電所の重要な部分である。加減器は、原子力発電所の重要な部分である。加減器は、原子力発電所の重要な部分である。

千差万別な動力炉の将来

原子炉設計用「サイコロ」の話。原子炉設計用「サイコロ」というのは、原子炉設計の重要な道具である。原子炉設計用「サイコロ」というのは、原子炉設計の重要な道具である。原子炉設計用「サイコロ」というのは、原子炉設計の重要な道具である。



サイコロの設計が、原子炉設計の重要な部分である。サイコロの設計が、原子炉設計の重要な部分である。サイコロの設計が、原子炉設計の重要な部分である。

計算とみる。原産国放射線防護グループは一九五八年年度年次報告書を発表した。この報告書は、放射線防護グループの単位でとりまわっているが、この報告書の透過計算は、ガンマ線の透過計算が主である。この報告書は、放射線防護グループの単位でとりまわっているが、この報告書の透過計算は、ガンマ線の透過計算が主である。

原子力発電所安全基準委が中間報告。原子力発電所安全基準委員会は、原子力発電所の安全基準に関する中間報告を発表した。この報告書は、原子力発電所の安全基準に関する重要な情報である。原子力発電所安全基準委員会は、原子力発電所の安全基準に関する中間報告を発表した。

原子力局で映画「日本の原子力」完成。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。この映画は、日本の原子力産業の現状と将来について詳しく紹介している。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。

原子力海外事情(三月号)の概要。原子力海外事情の三月号は、世界の原子力情勢について詳しく紹介している。この号は、世界の原子力情勢について詳しく紹介している。原子力海外事情の三月号は、世界の原子力情勢について詳しく紹介している。

原子力局で映画「日本の原子力」完成の続き。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。この映画は、日本の原子力産業の現状と将来について詳しく紹介している。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。

原子力局で映画「日本の原子力」完成の続き。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。この映画は、日本の原子力産業の現状と将来について詳しく紹介している。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。

原子力海外事情(三月号)の概要の続き。原子力海外事情の三月号は、世界の原子力情勢について詳しく紹介している。この号は、世界の原子力情勢について詳しく紹介している。原子力海外事情の三月号は、世界の原子力情勢について詳しく紹介している。

原子力局で映画「日本の原子力」完成の続き。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。この映画は、日本の原子力産業の現状と将来について詳しく紹介している。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。

原子力局で映画「日本の原子力」完成の続き。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。この映画は、日本の原子力産業の現状と将来について詳しく紹介している。原子力委員会は、映画「日本の原子力」の完成を発表した。

4月20日発売

予約申込受付中

姿型国際版、9ホ横組
特アード100 lbs 本文 400頁

各界の御協力のもとによりやく完成

――主な内容――

世界の原子力情勢、ヨーロッパ、北米、中米、南米、アジアの各編からなり、56カ国2500社の住所、経歴、事業内容等を紹介した画期的内容、付録として日本編の外、カラー写真を入れた豪華版……

編集発行 **原子力通信社**

東京都千代田区内幸町2の3、幸ビル
TEL (59) 4706、振替(東京) 45510

定価 3600円
(送料含)

